

「火の用心だよ」 第28号 (平成29年6月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

★高年齢者世帯の火災が増加しています！

平成29年1月1日から同年5月31日までの火災発生件数は、214件と前年同日と比較すると18件減少しています。

しかし、住宅火災のうち、65歳以上の高年齢者世帯で発生した火災については、23件と前年に比べて10件増加しています。

主な出火原因としては、こんろ、電気関係、たばこ、灯火などです。

毎年、こんろ火やろうそく火が衣服に燃え移り負傷する火災が高齢の方に発生していますので、特に注意してください。

	平成28年	平成29年	増減
火災件数	232	214	△18
住宅火災	94	87	△7
高年齢者世帯	13	23	10

平成29年中の火災発生件数（5月31日現在）

★高年齢者の火災事例(着衣着火)

この火災は、仏壇のろうそくで線香に火をつけようとしたところ、ろうそくの火が着ていた衣服の袖に接触し、衣服に燃え移ったものです。

着衣着火を防ぐため、衣服の袖口などを火に近づけないように注意を払いましょう。

また、火がついても燃えにくいエプロンやアームカバーなど防炎加工をしたものもあります。



★避難を優先！そして、整理整頓！！

高齢の方は、万が一火災が発生した場合、無理に消火しようとしなくて、大声で火事を知らせながら避難しましょう。

また、避難しやすいように家の中の整理整頓に心がけましょう。

★ごみ収集車火災をなくしましょう!

平成28年1月1日から同年12月31日までの1年間で、ごみ収集車火災は53件発生しています。これは、札幌市内で発生した火災517件のうち約10%を占めることになります。

ごみ収集車火災は、スプレー缶やカセットボンベなどに残っていたガスが原因で発生します。



★スプレー缶・カセットボンベのごみ出しルールが変わります!

7月から、使い終わったスプレー缶とカセットボンベのごみの出し方を、穴を開けずに透明・半透明の袋に入れて燃やせるごみの日に出すルールに変更されます。

毎年、スプレー缶やカセットボンベの穴あけが原因による事故が発生しています。

ごみ出しルールをしっかりと守り、スプレー缶やカセットボンベによる火災や事故を防ぎましょう。

なお、これまで同様、消防署・出張所でも穴の開いていないスプレー缶等の引き取りを行います。

★住宅用火災警報器を点検・交換しましょう!

住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）に付属の電池は、約10年が寿命といわれています。札幌市では、平成18年6月から住警器の設置が義務付けされ、今年で11年経過しています。

住警器が正常に作動するか点検しましょう。

さらに、電池だけではなく住警器本体も時間の経過とともに劣化してしまいます。

消防局では、設置から10年を目安に住警器の本体交換をおすすめしています。

点検ボタンを押す



点検ひもをひっぱる

